

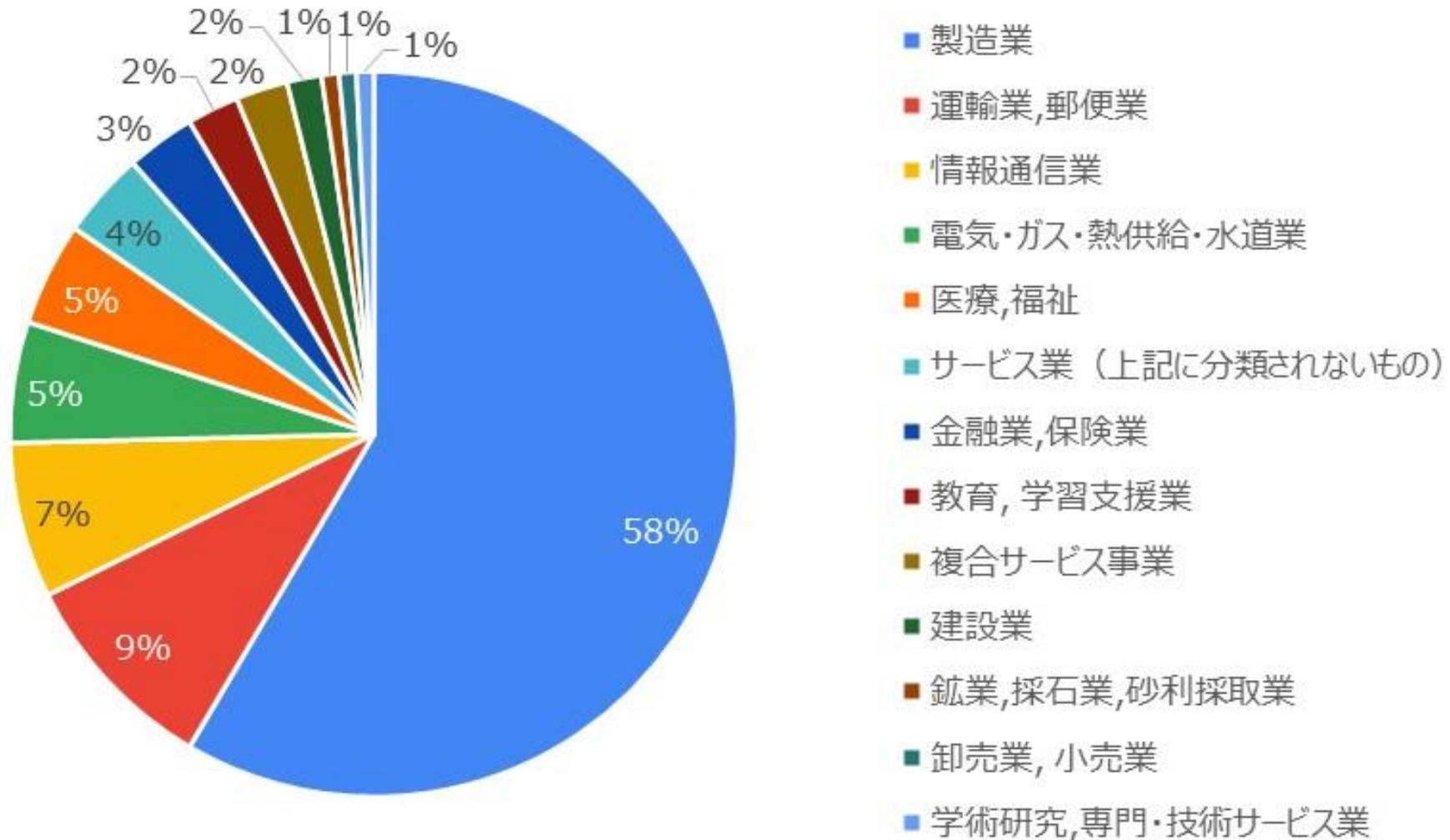
産業医学推進研究会 職域ワクチン接種に関する アンケート集計結果

産業医学推進研究会

産業医学推進研究会会員へ6/7-6/11の期間にアンケートを実施
結果の公表に同意の得られた130件の回答を集計

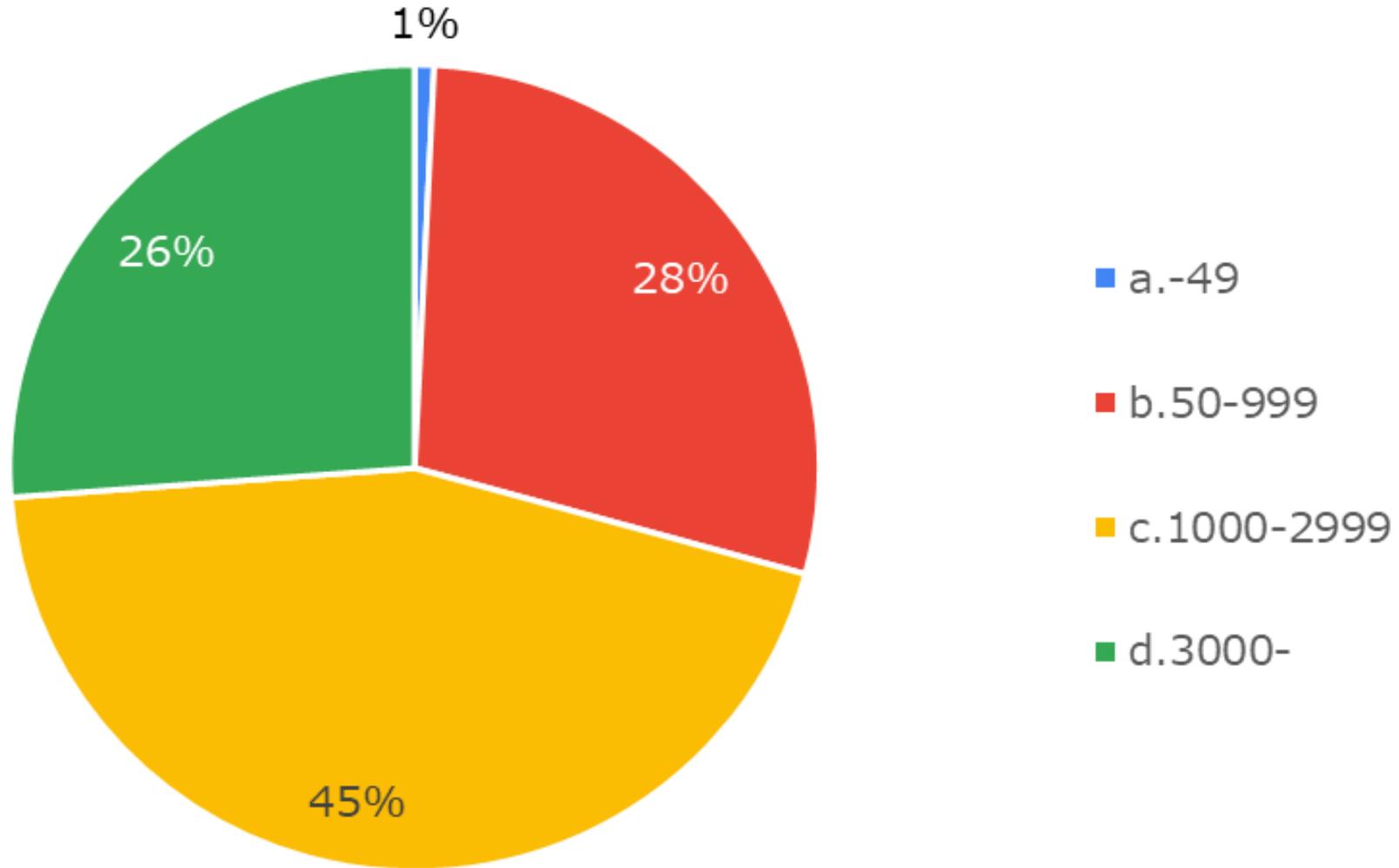
回答する勤務先事業所の業種（総務省分類）

* 複数事業所を担当している場合は最も従業員数の多い事業所で回答



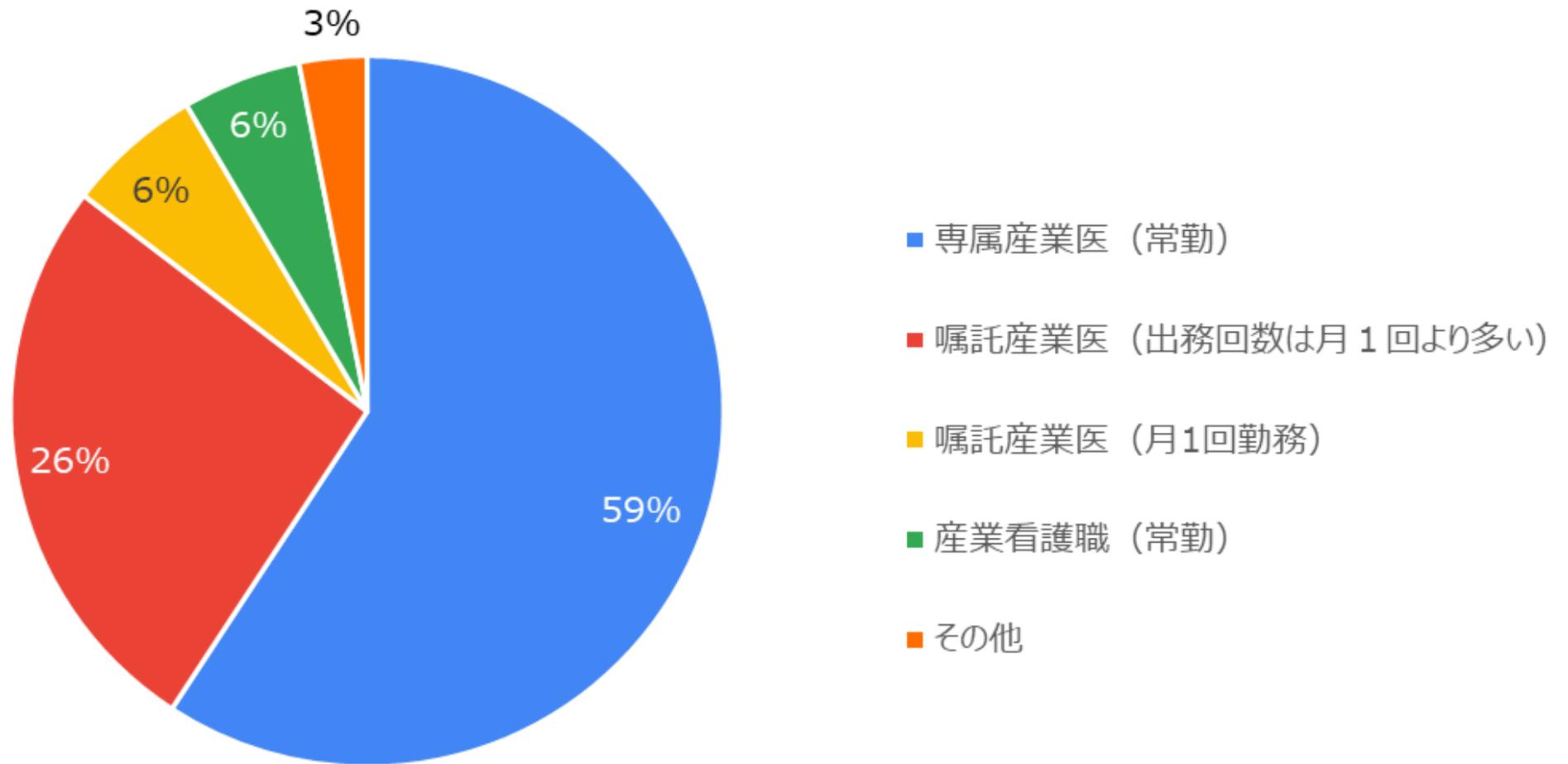
N=130

回答する勤務先事業所の従業員数（常勤）



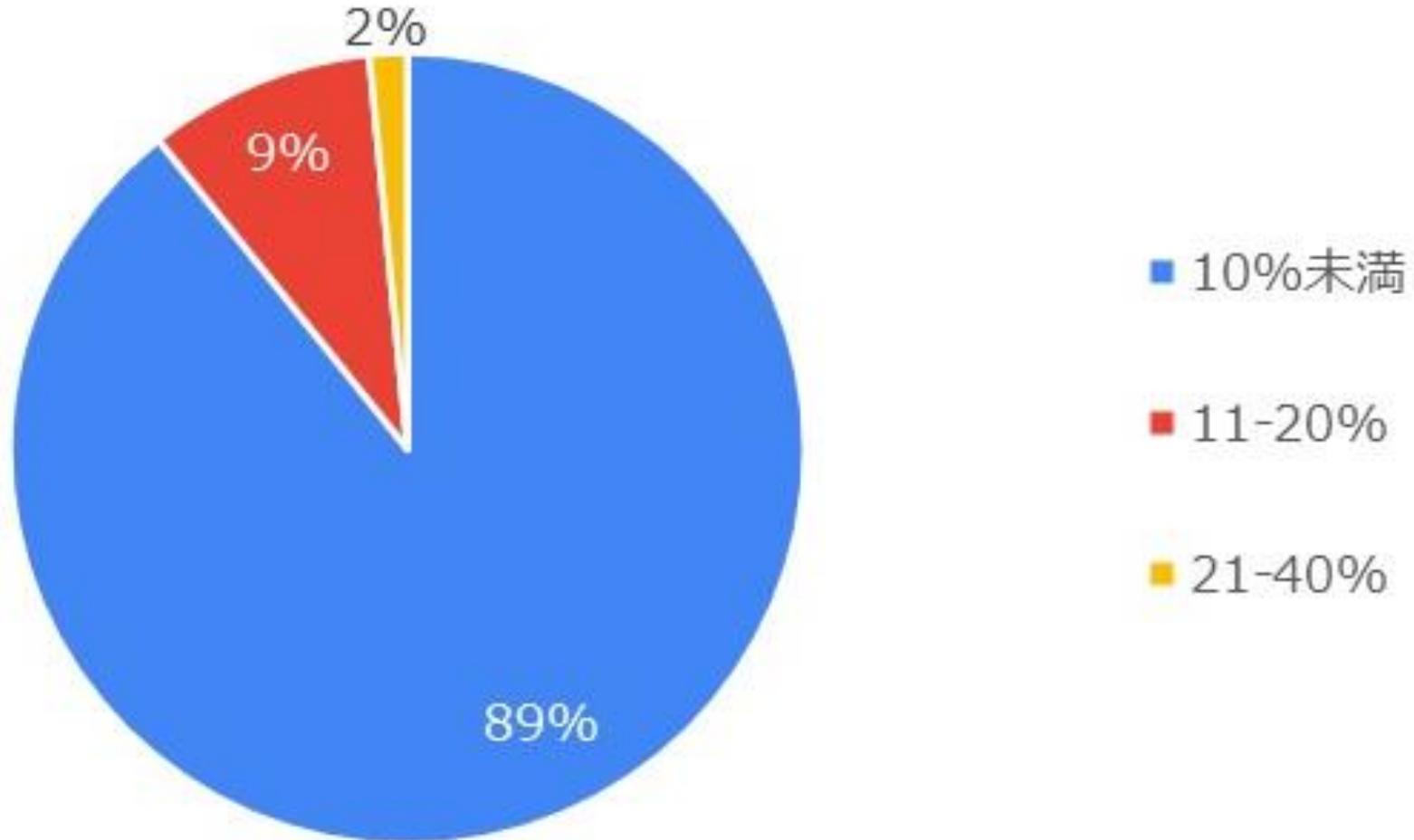
N=130

回答者の職種



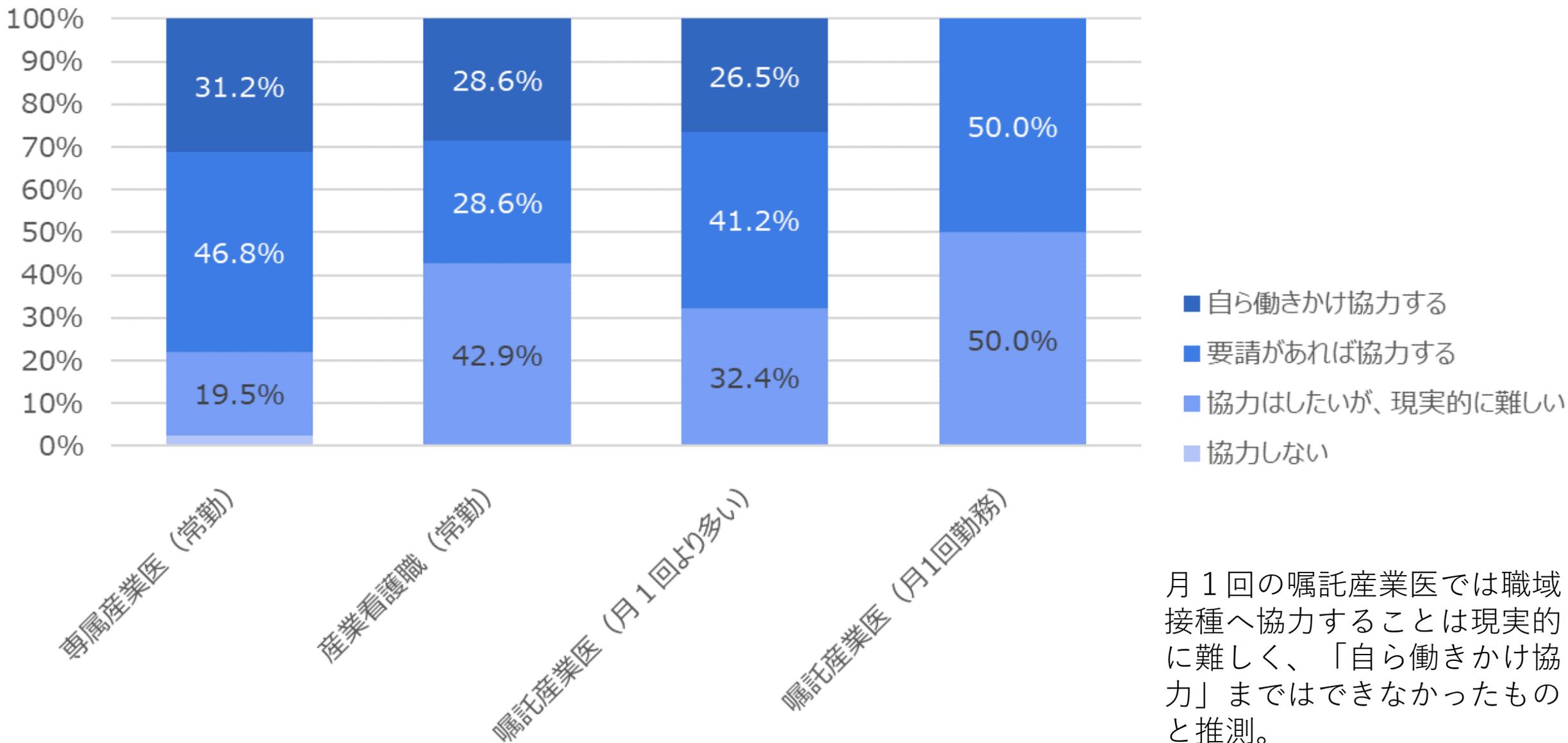
N=130

65歳以上の労働者割合はどれぐらいですか？



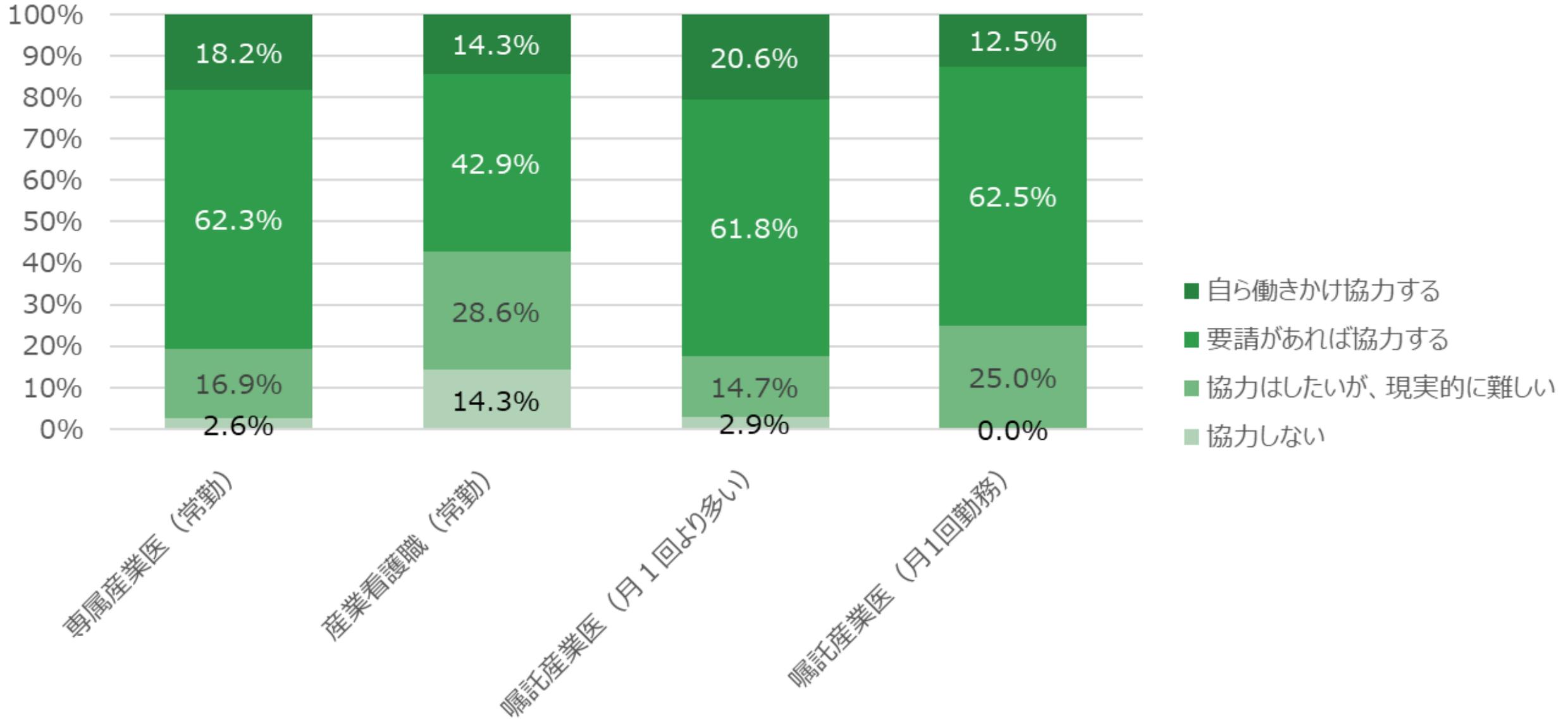
N=130

企業内での職域接種への協力の意向

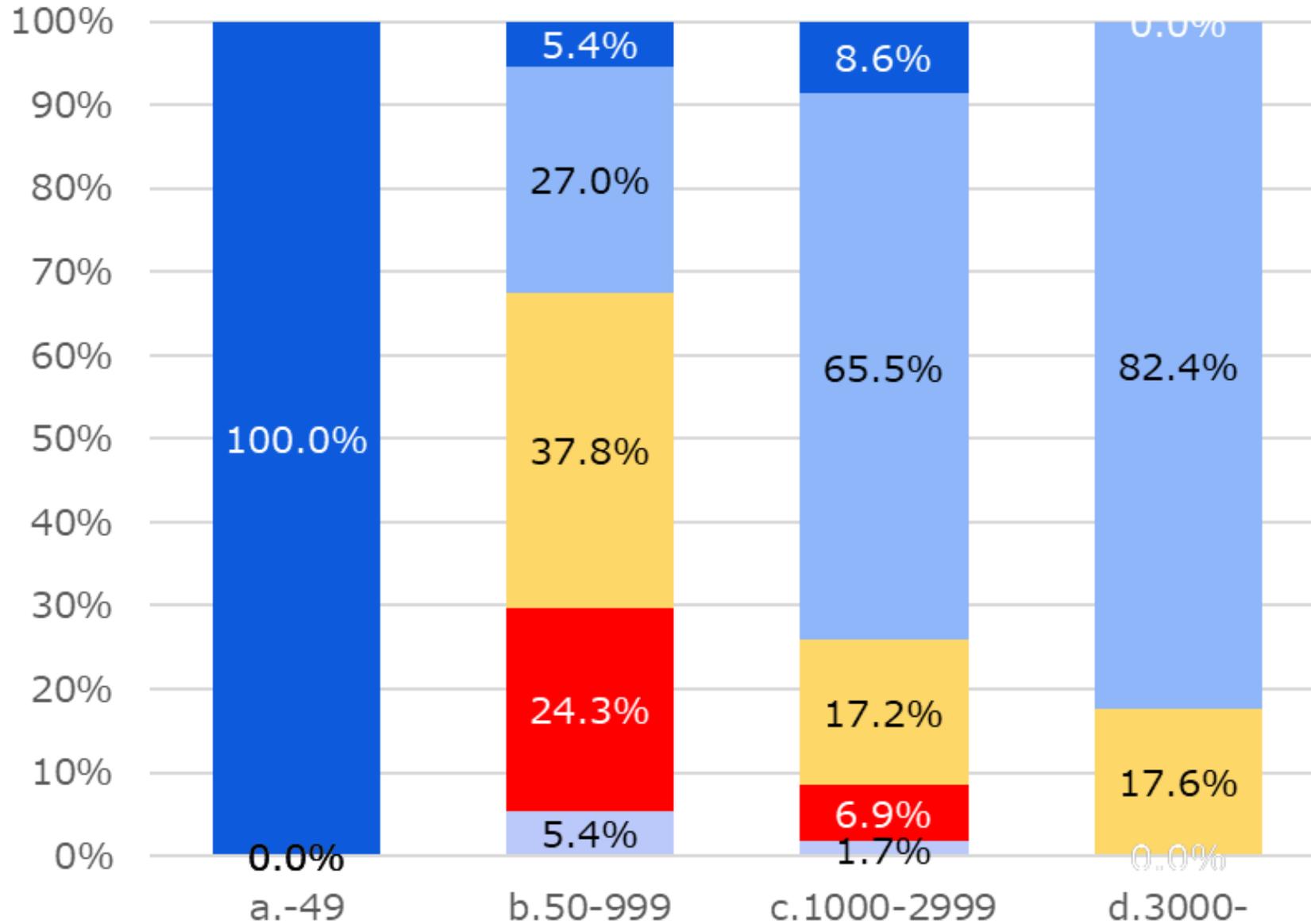


月1回の嘱託産業医では職域接種へ協力することは現実的に難しく、「自ら働きかけ協力」まではできなかったものと推測。

企業内接種以外の職域、自治体等での接種への協力の意向



企業内での職域接種の実現可能性



1000人以上の事業所では、
8割前後が企業内接種を
行うことが可能と回答

- a. 通常
の業務
内で
実施
可能
- b. 工夫
を要
する
が
可能
- c. 不
可
能
で
は
な
い
が、
現
実
的
に
厳
し
い
- d. 不
可
能
- e. そ
の
他

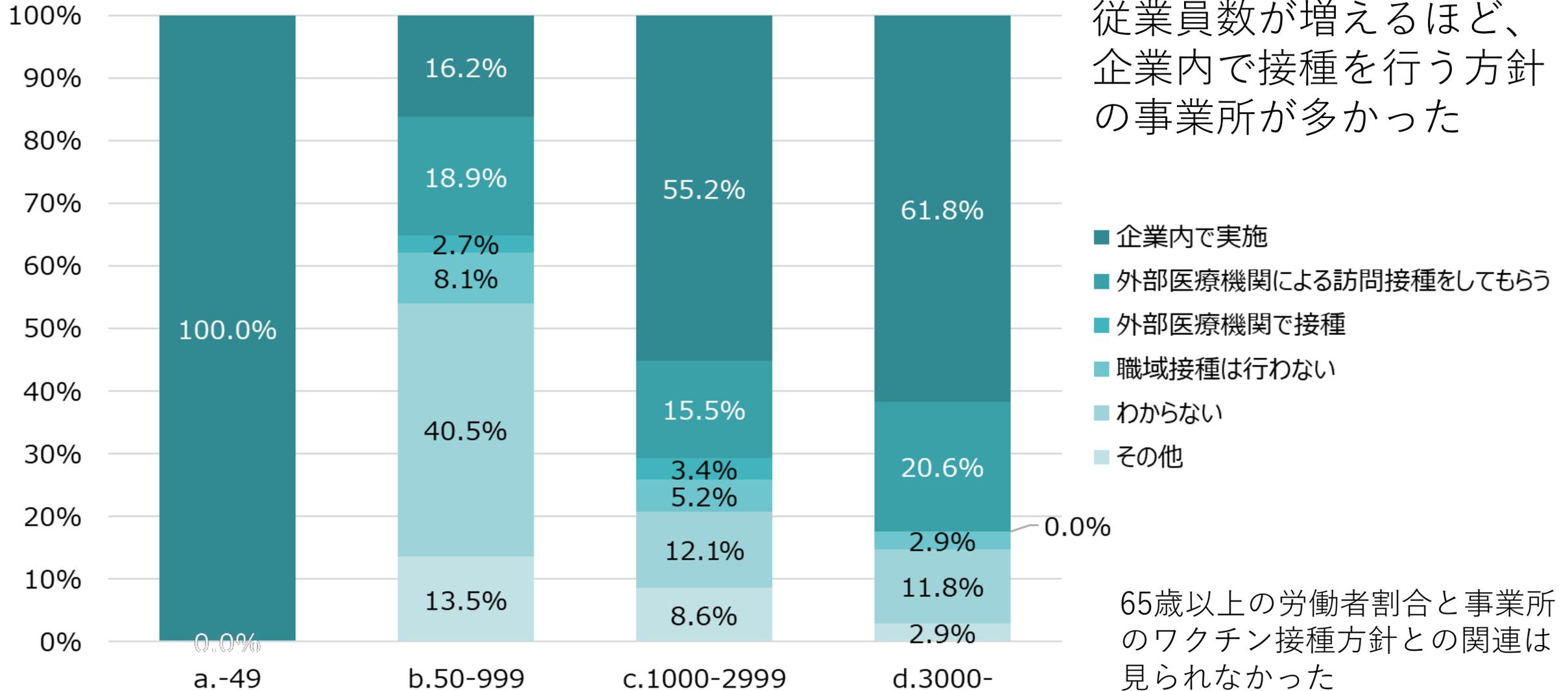
逆に1000人未満の事業所では、
企業内接種を行うのは困難と
いう意見が

7割近くあった。職域接種の
実施単位が1000人以上であっ
たことも影響していると推測

注：-49は医療、福祉業のみ

従業員規模

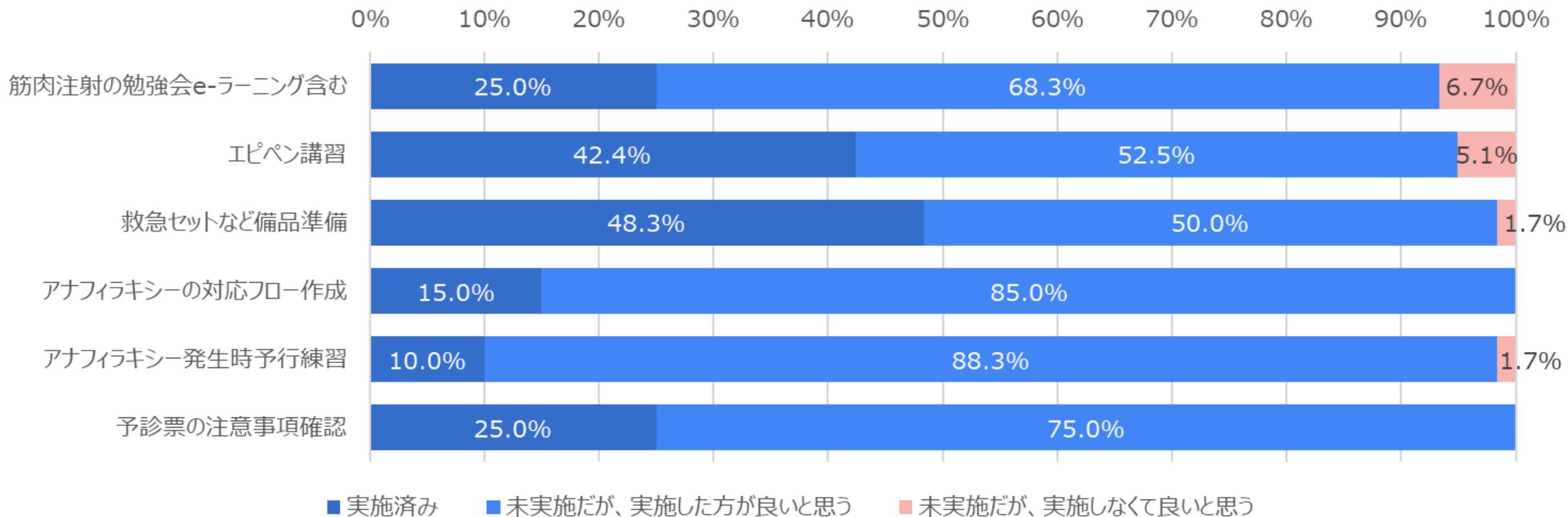
事業所でのワクチン接種の方針は？



選択肢「その他」の内容

- 企業内で会場と医師の確保、それ以外注射器の準備や接種の看護職等の医療食などは外部医療機関へ訪問接種を委託
- 企業内実施、外部委託機関の訪問実施の可能性を検討中
- 職域での接種をしたいと考えているようだが、方針がまだ定まっていない。
- 外部医療機関へ委託して、医療従事者も手伝う。
- 企業内スタッフのみで行う方向で検討しているものの、接種期間により外部委託とも検討する
- 検討中
- 一部地域では接種会場提供を自治体に申し出済み。社内有資格者の自治体接種会場への応援をサポート（希望に応じてボランティア休暇を適用、副業禁止規定からの除外）
- 政府の方針を見ながら、検討中。基本は「職域接種は行わない」となる可能性大
- 現在外部医療機関への委託を検討しているが、流動的なため住民接種で間に合わせる可能性もあり
- 検討中(可能性があるのは外部医療機関で接種)
- 周辺会社と共同で実施するかを検討中とのこと

事業所におけるワクチン接種に向けての準備



企業内で実施予定の60回答

その他、ワクチン接種に向けて準備していること（自由回答）

- 地域のワクチン接種バイトに応募して調査する。
- ワクチン情報をアナウンスし、接種するかしないか、どこで接種するか（かかりつけ医？職域？自治体？）を個々で検討してもらう。
- 当日の流れの確認や接種可能な人数の確認など各部署との調整。
- ワクチン接種後の体調不良の取り扱いについてフロー作成。
- ワクチンの副反応以外の医療賠償責任保険。
- 物品購入の見積もりや手順書整備、外部協力以来など具体的に想定中。
- 注射器、注射針、アルコール綿、等の確保。
- ワクチン接種する訪問医療機関がそもそもどこにあるのかの調査が必要。
- 該当事業所ではしていないが、所属する労働衛生機関（独立系産業医事務所）にて外部診療所との提携のもと、巡回健診に近い形での実施を検討中。
- エピペン個人的に。産業保健スタッフの意思確認。
- 社員へのワクチン啓蒙資料の作成。

- 対象範囲の設定とその周知（全員を対象と出来ない場合は従業員や対象範囲に対して適切な説明が必要と考えます）。社内資源（事務ボランティアなどを含む）が個人の医療情報に触れることについてのルールや対応方針、同意取得などの準備。
- 職場のシフトに合わせたスケジュール作成。
- 主担当からの情報がないため詳細はわからない。私はエピペンとアンビュー、経口抗ヒスタミン薬を最低限として提案しており通ると思う。動画視聴は各自の指示あり（業務外）、演習含むルールの策定と読み合わせは提案しているか通るかわからない。
- 地方ワクチン接種会場へ赴き、見学させていただいている。病院での接種マニュアルや所管をお伺いしている。
- ロジ、オペレーションの検討、人員確保。
- 社員向けの教育。
- 社員への接種希望者調査。
- 事務方との十分な調整、役割分担。
- 企業グループ内での検討。
- 体制の整備、生産計画の調整、冷蔵庫など物品の整備。
- 接種に関わる医療スタッフへの医療事故をカバーする保険への加入検討。

- スタッフ派遣の準備。
- スタッフのシフトの確認、他の業務との調整。
- 会場確保、行政との調整、社内スタッフ調整。
- 接種会場、人員配置、接種フロー設定。
- すでに自治体での集団接種に協力中。救急セットはコロナワクチンとは無関係に常備。
- ワクチンの効果や副反応などについての社員への啓発。
- 接種翌日以降の体調変化に備えた運行計画のシミュレーション。
- 医療機関の確保、開設届の準備、体制の整備など。
- 人員計画のシミュレーション（1日の最大数）、国内の他事業所への対応。
- 接種実施後数日間の発熱や接種部の痛みに対する相談窓口の設置と対応方法。
- 当日、受付・問診で時間がかからないようにするための事前準備。
- 事業主の決定を待って検討を開始する。
- 附属医療機関で接種を行えるため、接種会場に救急医と一般病棟用の救急カーブを設置しています。
- 自治体集団接種への協力。
- 行政、市医師会との調整で、アナフィラキシー発生の場合は優先して救急搬送できるように調整しています。

予診時のポイントと持病を持っている方への接種について

青字をクリックするとリンク先にジャンプします

新型コロナワクチン

予診票の確認のポイント

Ver 2.1

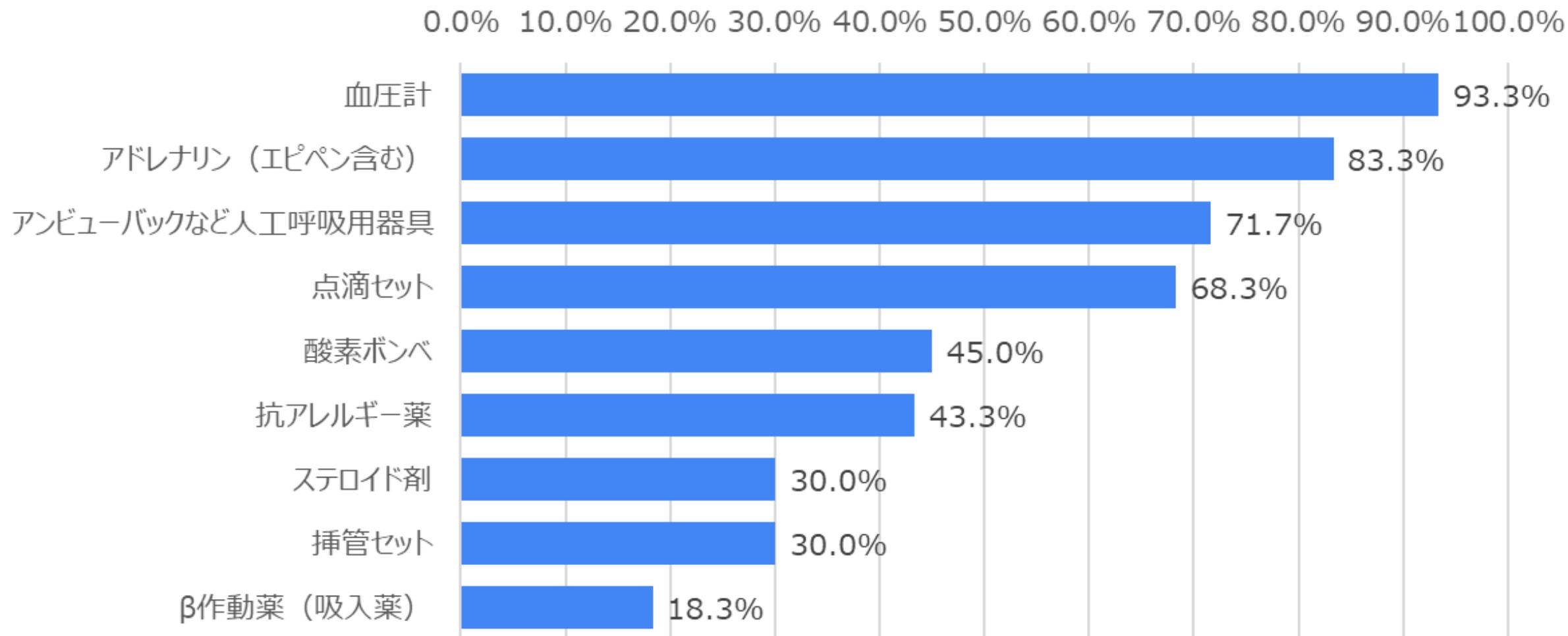
(令和3年5月28日版)



【持病のある方への新型コロナワクチン接種について各種学会から提言】

- ① [がん患者（日本癌治療学会他）最終更新3月19日](#)
- ② [妊産婦、妊娠を望む女性（日本産婦人科学会他）最終更新 6月17日](#)
- ③ [12歳以上の小児（日本小児科学会）最終更新6月16日](#)
- ④ [日本医学会連合 最終更新4月23日](#)
- ⑤ [膠原病・関節リウマチ（日本リウマチ学会）最終更新2月20日](#)
- ⑥ [透析患者（日本透析医会他）最終更新4月5日](#)
- ⑦ [骨髄腫（日本骨髄腫学会）最終更新4月12日](#)
- ⑧ [神経筋疾患（日本神経学会）最終更新5月10日](#)
- ⑨ [てんかん（日本てんかん学会）最終更新3月21日](#)
- ⑩ [炎症性腸疾患（日本炎症性腸疾患学会）最終更新2月15日](#)

救急用品でそろえている薬品、物品



- 血圧計、アドレナリン、人工呼吸用器具、点滴セットを揃えている事業所が多い
- 回答時点でそろえているものなので、実際の接種時にはアナフィラキシーに対応するための薬品等は準備されると思われる

職域接種に必要なと なる代表的な薬品、 物品

新型コロナウイルス感染症に係る 予防接種の実施に関する 職域接種向け手引き (第2版)



iv 救急用品

接種実施医療機関等の救急体制を踏まえ、必要な物品を準備すること。代表的な物品を以下に示す。

- ・ 血圧計、静脈路確保用品、輸液セット、生理食塩水
- ・ アドレナリン（エピネフリン）（※）、抗ヒスタミン剤、抗けいれん剤、副腎皮質ステロイド剤等の薬液

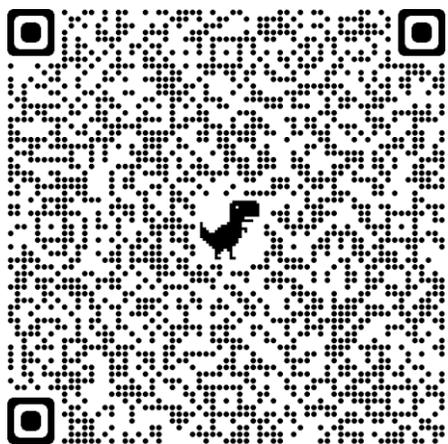
※救急用品として具備するアドレナリン（エピネフリン）製剤については、病院等においては、原則としてアンプル製剤（ボスミン®注 1mg）又はシリンジ製剤（アドレナリン注 0.1%シリンジ「テルモ」）によることを想定している。特設会場等については、自己注射薬（エピペン®）によることも想定される。

新型コロナウイルスワクチン接種にともなう
重度の過敏症（アナフィラキシー等）の管理・診断・治療

一般社団法人 日本アレルギー学会

令和3年3月12日 改訂

医療機関での接種で、
治療完結までを想定
した装備



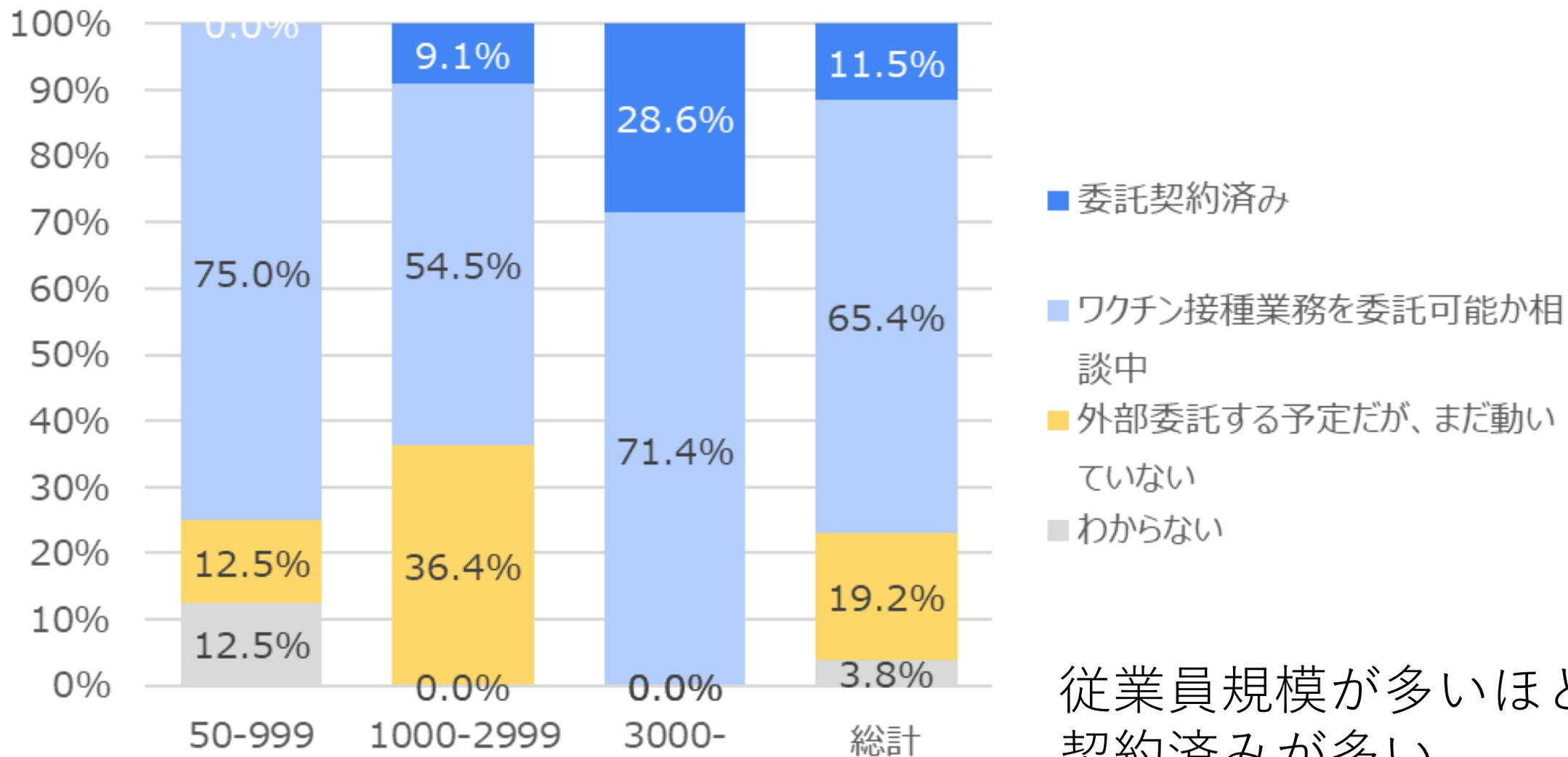
- 血圧計、静脈路確保用品、輸液セット
- アドレナリン注射薬 0.1%（2本以上）
 - ボスミン®注 1mg またはアドレナリン注 0.1% シリンジ「テルモ」
 - 自己注射薬「エピペン®注射液 0.3mg」でも可
- 生理食塩水 20mL（5本以上）/500mL（2本以上）
- ヒスタミン H1 受容体拮抗薬（5錠以上）、
 - PEG（マクロゴール）を含まないもの（例 ビラノア錠、ルパフィン錠、アレグラ OD 錠など）を推奨
- 副腎皮質ステロイド薬注射薬（2本以上）
 - ヒドロコルチゾン（ハイドロコートン®、ソル・コーテフ®、サクシゾン®など）
またはメチルプレドニゾロン（ソル・メドロール®、ソル・メルコート®など）
 - PEG、ポリソルベートを含むものは不可（例 デポ・メドロール®）

抗ヒスタミン薬でもPEG
が入っているものもある
ので注意

ハイリスク症例での接種に際しては、上記に加えて標準的な救急カート、少なくとも以下の医薬品と医療備品をワクチン接種現場に備えることが望ましい。

- パルスオキシメーター
- 酸素ボンベ（流量計と延長チューブ付き）、経鼻カニューレ・使い捨てフェイスマスク
- 挿管セット
- ヒスタミン H1 受容体拮抗薬注射薬（2本以上）
- 吸入短時間作用性 β_2 刺激薬（pMDI）とスプレーサー（2セット以上）
- グルカゴン（ β 遮断薬を投与中で、アドレナリンが無効の場合に使用）

ワクチン接種を外部に委託する場合、 すでに医療機関や健診機関に依頼をしていますか？



従業員規模が多いほど、
契約済みが多い。

外部委託予定の26件

従業員数